



菊川市議会だより

議会のひろば

2025.8.21 No. 83

今月の
特 集

確かな情報で 安心な出産を
松下産婦人科医院の助産師さんに
聴きました

特集……………P01
6月定例会概要……………P03
一般質問……………P05
みんなの声……………P14
きかせてパパママの声 他…P15



千框の棚田

菊川市ホームページ
市議会のページは
こちらから



特集

確かな情報で 安心な出産を 松下産婦人科医院の助産師さんに聴きました

「体調の変化も、夫婦で楽しんで乗り越えてください。」

〈助産師を目指したきっかけと、日々心がけていることは〉

看護学生時代の実習や身近な出産への感動、あるいはテレビドラマで命の大切さを感じたことがきっかけだったという方が多いなかで、今回お話を伺った助産師さんは、事務職からの転身。自身の出産で支えてくれた助産師の姿に感銘を受け、学び直して助産師となりました。

どのお産も緊張感があり、無事に元気な赤ちゃんが生まれることを第一に考えています。妊婦さん一人ひとりに寄り添えるのが助産師の醍醐味です。

〈産後ケアの連携と必要な支援は〉

菊川市は産後ケア制度への対応がスムーズでありがたいと感じている一方で、里帰り出産の方への支援や、自治体間で制度に差があることが課題です。必要な人が経済的理由で

ケアを受けられないのは心配。気軽に相談できる窓口や、突発的なときでも子どもを預けられる環境がもっと整うと、お母さんたちの負担が減ると思います。



市民と議会をつなぐ特集ページです。
今回は、地域で長年お産を支えてきた松下産婦人科医院の助産師さんに、妊娠・出産をめぐる現状や支援制度、助産師のやりがいなどについてお話を伺いました。

〈最近の妊婦さんの傾向とサポートの工夫は〉

現代の妊婦さんは、SNSやネットの情報に影響されやすい傾向があり、情報に振り回されて不安を感じる方も少なくありません。わからないことは医師や助産師に直接聞いてほしいです。最近は男性の育児参加も増えて、育休を取るご主人も増えてきました。

〈無痛分娩の現状は〉

無痛分娩を希望される方はまだ全体の二、三割程度です。体制面や人員の確保が必要なため、実施には限りがあります。東京都では補助制度が始まりましたが、予約が殺到しているとも聞きます。無痛分娩への補助もありがたいですが、それ以上にすべての出産に対して等しく補助があることが望ましいですね。

〈妊娠・出産を控える方へのメッセージをお願いします〉

妊娠すると身体や生活が大きく変わって大変だと思えます。でもそれを前向きに『こういうもの』と受け入れて、ご夫婦で楽しんでもらえたら嬉しいです。

産後も、行政や医療のサポートを活用しながら、夫婦で協力して子育てをしてほしいです。



〈松下産婦人科医院の魅力は〉

昭和52年の開院以来、地域のお産を支えてきた松下産婦人科医院。親子2代で通院され

る方も多く、信頼されていることが伝わってきます。入院中の食事の美味しさも好評です。昔お産を担当したスタッフと再会する方もいて、懐かしさや安心を感じていただけるのが嬉しいのです。

医師が2人体制で緊急手術にも対応できます。また、女性の医師がいることで若い方や婦人科の受診をためらっていた方も来ていただき、思春期く分婉く更年期と長期に渡ってお付き合ひさせていただいております。患者さんの希望にできる限り寄り添うよう心がけています。

〈忙しい毎日の中でのリフレッシュ法は〉

助産師は6人体制で交代勤務を行い、夜間も1人が常時待機。医師も2人体制で、深夜の対応も行っており、休みは限られています。そのようななかでも、近場での外食やマッサージ、ペットとの時間、仕事中は、お母さんの笑顔と赤ちゃんが癒しになっています。

〈菊川市の出産・子育て環境への展望は〉

急な体調不良や育児のリフレッシュに対応できる、柔軟な一時保育制度があると助かります。また、第2子の育休中に第1子の保育園利用が難しいといった課題にも配慮が必要です。

今後も、誰もが安心して出産・子育てできる環境が菊川市で整っていくことを願ってやみません。

ご協力ありがとうございました。

〈取材協力〉

松下産婦人科医院

助産師 松下 ヨシノさん
副院長 松下 恵里奈さん
助産師 鈴木 美枝子さん
助産師 牧野 真由子さん

(写真右から)





議案
11件



報告
5件



諮問
2件

賛否が分かれた議案等一覧表

議案番号	議案名	結果	本田 高一	黒田 茂	松永 晴香	白松 光好	奥野 寿夫	藤原万起子	石井 祐太	渡辺 修	須藤 有紀	東 和子	坪井 仲治	織部ひとみ	織部 光男	小林 博文	山下 敦基	山下 修	赤堀 博
議案第40号	専決処分の承認について (菊川市国民健康保険税 条例の一部を改正する 条例の制定について)	承認	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	—

※○…賛成 ×…反対 欠…欠席 ※議長(赤堀 博)は採決に加わらない。

すべての議案名および審議結果は菊川市議会ホームページをご覧ください。議会事務局へお問い合わせください。

審査
ピックアップ
議案
第46号

市有財産の取得について
(学習者用パーソナルコンピュータの新規購入)

◎ タブレット導入後の教育成果の検証は。

① 1人1台端末を日常的に

使う効果としては、学習意欲の向上と非認知能力の向上である。非認知能力とは、友達とうまく関わることや、コミュニケーションで人と困ったことを乗り越えていくなどの能力である。これらはテストでは測れないため、検証は、タブレットの使用状況や学習アプリの活用状況などを学校で確認している。週3回以上の使用頻度が、昨年度は90%程度となっているため、今年度は100%達成を目指している。今後は、授業の中で1人1台端末を活用することにより、ほかの児童生徒との意見交換の場や振り返りの場で

の活用を促進して、さらに非認知能力を高めていきたいと考えている。

〈執行部回答後の議員意見〉

費用をかけて新しいパソコンが入るという事であるため、今までと同じではなく、いろいろな活用を考えていただきたい。

非認知能力の向上というのが成果として強調されていたが、菊川市全体的に学力が低下しているのではないかと、心配の声があり、非常に懸念している。非認知能力も大事であるが基礎学力がしっかりと定着しているのかということと教育委員会でも検証していただきたいと感じた。

審査 ピックアップ 議案 第44号

菊川市一般会計補正予算（第1号）

令和7年度の事業を行うにあたり、当初の予算に過不足が生じたものなどについて、その理由などを確認し、課題や問題点などについても議論しました。

❶ 道路災害防止対策事業で額田川上線（川上）兼用護岸改修工事、東447号線（丹野）法面復旧工事の内容の詳細と地元への説明は。

❶ 額田川上線兼用護岸改修工事の施工箇所は川上地内の長堀橋東側。工事内容は、江川左岸の兼用護岸の沈下が進行しているためブロック積みを実施するもので、ブロック積み高さ約3m、施工延長約13mとなる。東447号線法面復旧工事は施工箇所が丹野地内で、丹野池の南付近から布引原に上っていく道路。昨年6月の降雨により谷側法面の一部が崩壊したため、今後

崩壊が拡大して道路の通行に支障が生じないように法面の対策を実施するもので、補強盛土工法で高さ3mから5m程度、施工延長は約15mとなる。地元への説明については、額田川上線と東447号線ともに、施工業者決定後、工事内容や施工期間などを示した回覧文書を作成し、自治会や関係者に周知を図るとともに、併せて施工現場においても工事期間や交通規制などをお知らせする予告看板を設置して通行する方々にも周知を図っていく。

〈執行部回答後の議員意見〉

道路工事の周知については、予定箇所への予告看板設置、広報等での周知がなされているが、今後も事前周知をしっかりと行ってほしい。

法面の復旧工事のタイミングは難しいと思うが、総合的な判断をして二次災害が発生しないようにしてほしい。



❷ 保育事業費（保育支援）、

民営化前のおおぞら認定こども園におけるICT推進化事業はどの程度進んでいたのか。また、今回のICT化の内容は。



❸ 民営化前のおおぞら認定こども園では、保護者への一斉連絡ができるシステムのみ導入していた。民営化後のおおぞら認定こども園では、保育計画や保育記録の作成、保護者との連絡、登降園の管理といったものを電子化する複合的なシステムの導入と併せて、パソコンやタブレットの端末を購入する予定である。

執行部回答後の議員意見
保育施設のICT整備に関して、今回おおぞら認定こども園の補正予算が計上されたが、全体的に業務改善や負担軽減が進めばよいと思った。

一般質問

議会の映像配信をご覧いただくには



本会議の生中継や録画映像をインターネットにより配信していますので、ぜひご覧ください。また、会議録はホームページ、市役所4階議会図書室、菊川文庫、小笠図書館で閲覧できます。(令和7年6月定例会の会議録は準備出来次第となります)



一般質問とは？

議員が地域住民に密着している事項や市の施策について、状況確認や今後の方針について説明を求めるため質問を行います。また、市への政策提言を行うこともあります。

質問議員：13名

※議員名の下の（ ）は、所属する会派または政党を示します。



一般 通学路における交通安全の確保

東 和子（みどり21）

国は、各省庁をまたいで通学路における交通安全の確保に取り組んでいる。今年度、市長は、施政方針でも「安全で安心して暮らし続けられるまち」を掲げている。菊川市全体での通学路における交通安全の確保に向けた取組は、安全で安心して暮らし続けていただくためにも必要と考える。

Q 菊川市の通学路安全プログラムの策定状況を伺う。

A 平成26年に県と合同で静岡県通学路交通安全プログラムを策定し、通学路の安全確保に向けた取組を継続的に実施している。

Q 通学路交通安全の確保に関する推進体制における取組状況について伺う。

A 小学校で、毎年4月から5月に交通安全リーダーと語る会を実施し、通学路における交通安全確保に関する意見を集約している。これらの意見を踏まえて、各学校から市教育委員会へ、通学路において点検を要する箇所の報告がなされ、それに基づ

き、毎年、県の関係課、警察、市の関係課、各小中学校及び自治会の関係者が一堂に会し、安全対策が必要とされる箇所の合同点検を実施している。その結果を踏まえ、関係機関が連携をしながら対応を検討し、必要な安全対策を講じている。

Q 未完了箇所の分析・精査と事業推進について伺う。

A 昨年度末までに合同点検を実施した箇所は302か所あり277か所が対策完了、未完了箇所25か所のうち工事を伴わないソフト対策箇所14か所については現場状況の分析及び対策内容の精査を行い、事業を実施していく。



一般 防災対策の推進について

坪井 仲治（みどり21）



近い将来、発生が懸念されている南海トラフ巨大地震の国の被害想定が全面的に見直されたが、目標とする死者数はわずかな減少にとどまった。また、今回の想定では、避難生活などで体調を崩して亡くなる「災害関連死」が推計され、最大で5万2千人と、東日本大震災の約13倍にのぼるおそれがあるとされた。この結果を踏まえて、菊川市の災害対策について質問をした。

❶ 災害関連死者数を少なくするための現状と今後の施策は。

❶ 避難所での生活環境を整え、医療・介護体制を充実させることが重要で、菊川市避難所運営マニュアルに基づき、避難所を利用する人々の負担を軽減し、少しでも過ごしやすくするため、各地区の避難所運営委員会においてルールを設けている。また、災害時の健康支援では、菊川市災害時健康支援マニュアルに基づき、保健師など医療職による避難者の健康状態やニーズの把握などを行い、自主防災会や災害派遣医療チーム「DMAT」などと連携しながら、



保健衛生面からの居住環境整備や慢性疾患の悪化予防、感染症の蔓延防止などの取組に努めることとしている。

❷ 災害発生時にドローンを活用することの可能性は。

❶ 現在、「菊川市内のドローン団体」と被災状況等調査協力などについて、災害時等における無人飛行機運用に関する協定を締結している。今後、ドローンの運用について情報収集を行い、防災訓練を通じて、その運用の実効性を高めていく。

一般 菊川市介護保険特別会計について

西下 敦基（市民ネット）



❶ 保険者機能強化推進交付金について、各項目についての評価や改善できる点などについて見解は。

❶ 各項目の指標のうち、介護保険事業計画の進捗状況の分析や介護給付費の適正化に向けた方策の策定、地域におけるサービス提供体制の推進に当たって関係者との連携体制の確保などは、指標で求められる水準をおおむね達成していると考えている。課題とされている介護人材確保・定着に関する取組については、さらに強化が必要なため、本年度は、本市独自の事業として市内介護保険事業所を対象にカスタマーハラスメントに関する研修などを実施し、介護人材の定着を図っていく。

❷ 一般会計からの繰入れについて、どのような取組をしていけば繰入れを減少できる可能性があるのか。

❶ 繰入金金の大部分は、要介護認定を受けた人が介護保険サービスを利用した際の介護給付費であり、繰入金5億6478万2千円のうち8割以上を占めている。繰入金を減少させるためには、介護保険サービスに

頼ることなく、可能な限り自立した日常生活を継続していただくことが重要である。若いうちから一人ひとりがバランスのよい食事、適度な運動、地域活動への参加を意識していただくよう、効果的な介護予防や健康づくりに資する事業をより一層推進し、その成果が交付金の増加や繰入金の抑制につながるよう努めていく。

他に「菊川市国民健康保険特別会計」について質問しました。



一般 ぐらしに寄り添う子育て支援を

松永 晴香（みどり21）



子育てに関わる行政手続が非常に煩雑で、負担が大きいつと感じてきた。他自治体では、申請のオンライン化や情報を一元化してワンストップで完了できる仕組みが進んでいる。菊川市でもそのような取組を進めるべきと考え質問した。

● 子育てに関する手続で現状オンライン申請可能な手続があるか。

▲ 本市では、マイナンバーカードを利用した申請として、妊娠届、児童手当・児童扶養手当の受給、保育施設の利用など、また、市独自の電子申請として、リフレッシュ・一時保育申請、母子健康手帳の交付や妊活サポートなどの事前相談予約、各種教室への参加申込みなどについてオンライン上の手続を行っている。今後も負担軽減に向けたオンライン化に対応していく。

● 小学校から中学校へと持ち上げる書類や、毎年同じ内容の書類を記入することが多いのが現状である。こうした情報を、簡素化することは難しいのか伺う。

▲ 児童・生徒個票については、前年度のものを修正する方法に変更し、保護者の負担軽減を図っている。さらに、家庭から学校までの地図については、アプリやカーナビの活用により地図が不要であることを確認したため、来年度の児童・生徒個票から削除できる見通しである。今後は、校長代表との協議を通じて地図以外にも改善可能な項目がないか、引き続き検討を進めていく。

他に「男女共同参画、育児もキャリアもあきらめない社会」について質問しました。



一般 難聴者の補聴器購入に助成を

奥野 寿夫（日本共産党）



加齢性難聴の対策として、啓発や受診の促進、補聴器購入への助成などについて質問しました。

● 予防講座や特定健診に聴こえの項目が入っているか。中等・軽度の難聴についての啓発や早期発見について、どのような取組がされているか。

▲ 特定健診の検査項目に聴力は入っていない。介護予防教室などで、難聴が認知症のリスク因子の一つであることなどを説明し、補聴器の活用や耳鼻咽喉科への早期受診を促している。まずは、市民の皆さまが自分事として意識し、難聴の早期発見や早期対応につながるよう一層の周知・啓発に取り組む。

● 静岡県内では過半数の自治体が、中等・軽度の難聴者の補聴器購入に助成をしている。補聴器購入に対して、市独自の補助・支援事業を実施する考えはないか。

▲ 加齢性難聴は生活の質や認知機能の低下につながる要因の一つであり、早期から対応することで生活の

質の維持や認知症予防に寄与するものと考えている。補聴器購入費助成については、本市でも市独自の補助・支援事業の導入に向けた検討を既に開始している。現在は、他市町の導入実績などを調査・研究するとともに、市内耳鼻科医にも補聴器利用に関するご意見を伺いながら制度設計に向けた具体的な検討を進めている。また、加齢性難聴への支援制度を創設するよう、毎年、国へ働きかけている。

他に「被爆・終戦八十年にあたり、菊川市平和都市宣言にもとづく平和行政・平和教育の推進」について質問しました。



一般 土地用途と都市計画税について

黒田 茂（菊川ゆめ未来）



まちづくり計画、定住人口増加策として今後、駅南北通路開通から更に北部にまちづくり開発が行われる。過去の用途地域指定時には事業を営んでいた事業所が廃業し、家屋や住居が空き家化もしくは更地化されている箇所も多く目立ってきている。菊川市合併後20年が経ち、新しい菊川市の宅地開発の時期と考え質問する。

❶ しばらく行われていない用途地域の見直しの時期であると思うが市の考えを伺う。

❷ 本市においては、駅北地域のまちづくりを進めるため、新たな用途地域の指定を検討しているが、そのほかの地域において現時点での変更や見直しは予定していない。

❸ 都市計画税の見直しについて市の考えを伺う。

❹ 都市計画税は、都市の発展や整備に必要な財源を確保する為の目的税であり都市計画法に基づいて行う都市計画道路・道路整備事業に充当している。都市の健全な発展や快適

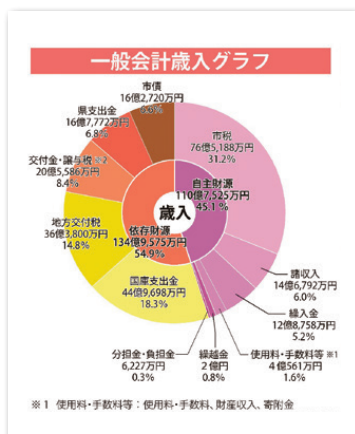
なまちづくりのための事業は続くので、現時点での見直しの予定はない。

❶ 西方堀田地区は民間業者による宅地開発であるが、将来線引きをして、都市計画税の課税があるか伺う。

❷ 堀田地区については民間開発であり、都市計画メニューがないので用途に入る予定はない。

❸ 都市計画税は広く市内事業に充てる税収である。近隣市では山間部を除いて住宅地から徴収している市もある。市内広く税徴収を求める考えがあるか伺う。

❹ 下水道と都市計画道路、公園等に充てるので、事業のない区域に課税する考えはない。



一般 若者の地元就職促進と人材定着策

渡辺 修（みどり21）



静岡県において10月から始まる奨学金支援事業について質問した。

❶ 県の奨学金返還支援制度について、市はどのように把握し評価しているのか。また、周知広報を行う予定は。

❷ 本制度は、中小企業等が従業員に対し実施する奨学金返還支援について、県と市がそれぞれ三分の一を助成する仕組みである。奨学金を利用している若者が多く、人材確保への効果が期待される。周知は県と連携した広報、市ホームページ、SNS、大学を通じた情報発信、市内企業への訪問やメールなどで行う。

❸ 市の参画に向けたスケジュールと検討プロセスを伺う。

❹ 県の要綱が公表され次第、市の要綱制定に向けた準備をスタートし、9月議会にて補正予算を計上。制度運用を開始する予定である。上乗せ給付や対象範囲の拡大は要綱を確認した上で検討する。

❶ 小規模な企業が多い菊川市において、企業側の負担を軽減するための支援策を検討しているのか。

❷ 申請手続の簡素化や丁寧な説明に努める。市独自の支援策は、県の要綱を確認後に検討する。

❸ 若者が市外の企業に就職した場合でも支援対象とし効果を高めるべきでは。

❹ 現時点では、市外企業就職者の扱いは不明。県の要綱を確認後に判断する。

❺ 奨学金返還支援以外の若者支援策や定着後の支援策について、市の考えは。

❻ 移住就業支援金や若者世帯定住促進補助金を実施中。地域交流の場を提供し、若者の定着を支援する。



一般 菊川市のホームページについて

石井 祐太（市政の見える化党）



市のホームページはデジタル上の市役所ともいえるものであり、市民が菊川市の情報を収集する上で重要な役割を担っていると考え質問した。

【Q】ホームページの運用方針について、菊川市は、どのような利用目的を持つ市民や利用者を主なターゲットとして想定し、どのように利用してほしいと考えているのか伺う。

【A】市内・市外、年齢、性別、職業などを問わず、幅広く全ての人をターゲットとして、市政に関するさまざまな情報を掲載した利便性の高い運用を心がけている。

【Q】PCとスマートフォンで見るときにアクセスできる情報に違いがあるがスマホビューとPCビューの違いを意識されたことがあるのか伺う。

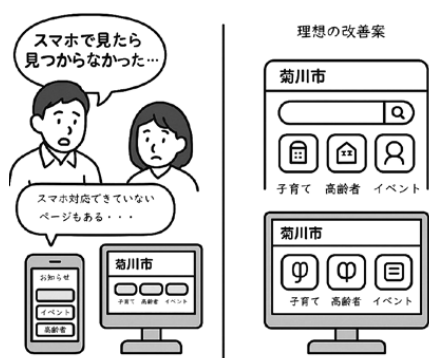
【A】認識している。できるところについては担当部署と相談の上、早急に改修をしていきたいと考えている。

【Q】アクセス解析とデータ活用について、どのようなデータを収集し、どのように活用しているのか伺う。

【A】ページビュー数やアクティブユーザー数を把握している。これらを情報発信推進委員会などで共有し、利便性の高いホームページ作成に活かしている。市ホームページは、平成21年度のリニューアル以降、15年余り運用している。デザイン面などにおいて改善の余地もあろうかと認識しているので、最新の技術動向を研究していく。

他に「地区センターの利用」について質問しました。

菊川市のホームページにおけるスマホ・PC
閲覧格差問題



一般 菊川市財政の存続を問う

織部 光男（無所属）



私は2月定例会で、令和7年度当初予算反対討論をした。反対理由は、依存体質予算であること、増収見込みがないのになぜ過去最大予算であるのか。市債残高一般・企業会計合計で257億9千万円あることなど

である。私には無責任予算とは思えない。「国の借金9年連続で最大1323兆円」とあった。国民1人当たり1千万円以上になる。菊川市の資金不足の心配の中、堀之内体育館強靱化対策費で約50億円、掛川市・菊川市衛生施設組合（環境資源ギャラリー）で400億円以上これからかかる予定である。菊川市の長期財政計画に問題はないのか。このような予算で菊川財政は存続できるのか。

【Q】市税76億5千万円に対し予算額245億7千万円であり菊川市の財政は存続できるか。

【A】人口減少の抑制や企業誘致などで人口確保や企業の進出につなげ、市税収入を確保し、持続可能なまちづくりを進めていく。

【Q】現在、依存財源比率54・9%ですが、菊川市は目標数値を持っているか。

【A】国の施策により増減するため、目標数値は定めていない。

【Q】少子高齢化・多死社会で税収が増える税は何かがあるか。

【A】特に生産年齢人口の減少に伴う所得の減少により個人市民税への影響が考えられる。

【Q】市の借金257億9千万円あるが、上限は決めているか。

【A】市債残高の上限額は決めていないが、一般会計では元金償還額以上に借入れないことを目標とし、市債残高を減らすことに努めている。



一般 特定都市河川指定と立地適正化

山下 修（みどり21）



今回の黒沢川特定都市河川指定と流域指定は菊川市小笠地区の都市拠点の流域治水事業を推進するものである。その効用について質問した。

〔Q〕 特定都市河川指定に向けた地元への周知と今後の対応はどうか。

〔A〕 昨年度の市政懇談会において全自治会へ説明、本年3月に棚草自治会及び平川地区自治会での説明会、県による事業者向け説明会を開催した。今後、国・県・市で設置される流域水害対策協議会の検討内容を情報発信していく。

〔Q〕 貯留保全区域の指定は、立地適正化計画の方針と相反する面はないか。

〔A〕 特定都市河川の指定により国や県からの事業費が重点的に配分され流域内の治水事業が進捗し、災害リスクの低減が図られ、黒沢川流域の都市機能及び居住誘導区域の安全性は高まると考えている。

〔Q〕 調整池の築造がどの程度の工事費増額となるのか。

〔A〕 菊川市土地利用事業の適正化に関する指導要綱では、7年確率雨量が基準降雨であるが、特定都市河川の指定により1000mm以上の開発は雨水浸透阻害行為として県知事の許可が必要となり、10年確率雨量が基準降雨量となる。流出水を抑制するため調整池の容量が増え概算で7%程度増額となる。

〔Q〕 黒沢川流域治水対策工事の現状での取組は。

〔A〕 市道への量水標の設置、岳洋中の校庭貯留で2480m³の貯留確保済。今後、棚草川左岸に貯留量約3万8200m³の雨水貯留施設、青葉通り嶺田線の透水性舗装を計画している。



黒沢川排水機場

一般 公園、施設の整備と運用について

本田 高一（菊川ゆめ未来）



市民の皆さまから「菊川市には市民が楽しむ場や、遊び場が少ない」との声があり、学校部活動の地域展開にも関わる、公園、施設の整備と運用について質問した。

〔Q〕 学校部活動の地域展開の推進において、指導者の確保は市民の協力で解決できるが、活動場所については課題となる。例えば、各小中学校のグラウンドの照明器具設置、旧六郷地区センターや現在ある運動公園等の整備、水辺リング菊川の活用に対する考えを伺う。

〔A〕 現在菊川市では、休日の部活動の地域展開について進めているが、現行部活動のように日中の活動を基本としているため、各小中学校への新たな照明器具の設置は考えていない。また、旧六郷地区センターは、耐震性の問題もあり、広く一般の方に開放する予定はない。菊川運動公園多目的広場は、現在、陸上競技について地域展開を進めていることから、既存の幅跳び等の施設整備を行う必要があると考えている。水辺リング菊川については、各種団体から

の要望に応じて整備を考えていきたい。

〔Q〕 近隣の市町から人を集めることのできる公園や施設を造り、使用料をいただくことで施設の維持管理費にするような考えがあるか伺う。

〔A〕 魅力ある公園は、本市の魅力向上へとつながることから、今のところ新たな公園を造る予定はないが、現在ある各種公園のポテンシャルを高めていく考えがある。



菊川運動公園

一般 働きがいのある職場とは

藤原 万起子 (市民ネット)



職員の働きがいのある職場づくりを目指し、環境や制度の充実を整える事により、仕事の効率化が図られ、その結果、市民サービス向上につながると思われる。

【Q】市民サービス向上について、来庁者の利便性向上に向けた取組は。

【A】マイナンバーカードの交付を事前予約にし、待ち時間短縮をした。オンライン申請や各種証明書のコンビニ交付など、来庁しなくても手続ができる仕組みを導入している。案内看板表記の多言語化や目の付く場所への設置をしている。接遇研修をし、市役所は最大のサービス業という意識を浸透させている。老眼鏡、軟骨伝導イヤホンの貸出し、通訳者、映像通訳などの活用、わかりやすい言葉、ゆっくり話すなどの対応に心がけている。

【Q】職員のメンタルヘルス対策や職場環境改善の取組は。

【A】労働基準法に基づくストレスチェックを実施。高ストレスの職員にはメンタルヘルス研修やハラスメ

【Q】イクボス宣言十カ条の現状と成果は。

【A】狙いは、幹部職員の意識改革を通じ働きやすい環境を実現すること、組織の業績向上と個人の仕事と私生活の充実を両立させること。個々の状況を理解し柔軟な働き方を認め、業務の効率化や意思決定の迅速化に努めるイクボスになれるよう、管理職の意識改革に取り組む。



一般 官民連携による駅周辺まちづくり

須藤 有紀 (みどり21)



【Q】菊川駅北整備における官民連携の展望及びPPPやPFIの積極推進について考えは。

【A】駅北まちづくりにおいては、PFI手法による施設整備事業は、該当する施設の計画で、積極的に民間の活力を導入する必要があると考えている。菊川駅北口においては、昨年度民間事業者の参入の可能性についてサウンディング調査を行い、現時点では参入する、しないの判断をくだせる状況ではないとの結果に至った。

【Q】反対の声も根強くあるが改めて駅及び駅前広場開発の必要性について見解と展望は。

【A】駅周辺整備は本市のまちづくりにとって非常に重要な事業。駅を中心とした南北市街地の均衡ある発展を図ることで、町全体の魅力向上、人口減少の抑制につながる。駅北地域では、日吉町と柳町の2自治会で406世帯、686人増加した。税収増は、市内全域の子育てや教育・福祉・インフラ整備の充実など、市全体に波及する効果が期待される。

【Q】公民連携で公共空間をうまくデザインすることによってまちのポテンシャルが上がる事例が全国である。魅力的な場づくりを積極的に行っていたきたい。コンセプト、期間、予算など具体案を落とし込んだうえでの民間への働きかけは。

【A】駅北ロータリーについては、令和9年度中に完成する見込み。ロータリー東側の市有地は、もう少し構想を練ったうえで公表して、参画していただける企業があればお願いしたい。



岩手県紫波町のオガール

表1

令和6年度政務活動費収支報告（改選前）

会派名		みどり21	市民ネット	至誠の絆	織部光男 議員	横山隆一 議員	合 計
項 目							
収 入	交 付 額	916,666	166,666	166,666	83,333	83,333	1,416,664
	雑 収 入	118	12	10	0	0	140
	対象外経費戻し	9,500	0	0	0	0	9,500
	計	926,284	166,678	166,676	83,333	83,333	1,426,304
支 出	調査研究費	0	0	24,139	0	0	24,139
	研 修 費	749,459	97,600	20,000	0	0	867,059
	広 報 費	93,439	69,078	121,987	83,333	77,243	445,080
	広 聴 費	0	0	0	0	0	0
	要請陳情活動費	0	0	0	0	0	0
	会 議 費	0	0	0	0	0	0
	資料作成費	0	0	0	0	0	0
	資料購入費	0	0	0	0	0	0
	人 件 費	0	0	0	0	0	0
	事 務 所 費	0	0	0	0	0	0
	その他の経費	1,430	0	550	0	0	1,980
	合 計	844,328	166,678	166,676	83,333	77,243	1,338,258
残 余 金		81,956	0	0	0	6,090	88,046

※残余金については、市に返還済です。

(単位：円)

政務活動費収支報告

「政務活動費」とは：

議員が行う調査や研究、その他の活動に資するため必要な経費の一部を交付するもので、菊川市では議員1人当たり年額10万円を限度に、会派及び会派に所属していない議員へ申請に基づき交付しています。

令和7年1月に市議会議員選挙が行われたため、4月から1月までの10か月分を選挙前に在籍していた会派及び会派に所属しない議員に対して、2月・3月分の2か月分を選挙後に結成された会派及び会派に所属しない議員に対して、申請に基づき交付しています。

表2

令和6年度政務活動費収支報告（改選後）

会派名		みどり21	市民ネット	菊川ゆめ未来	織部光男 議員	奥野寿夫 議員	石井祐太 議員	合 計
項 目								
収 入	交 付 額	0	33,332	33,332	16,666	0	0	83,330
	雑 収 入	0	19	0	0	0	0	19
	計	0	33,351	33,332	16,666	0	0	83,349
支 出	調査研究費	0	0	0	0	0	0	0
	研 修 費	0	32,000	0	0	0	0	32,000
	広 報 費	0	0	33,332	0	0	0	33,332
	広 聴 費	0	0	0	0	0	0	0
	要請陳情活動費	0	0	0	0	0	0	0
	会 議 費	0	0	0	0	0	0	0
	資料作成費	0	0	0	0	0	0	0
	資料購入費	0	0	0	16,666	0	0	16,666
	人 件 費	0	0	0	0	0	0	0
	事 務 所 費	0	0	0	0	0	0	0
	その他の経費	0	0	0	0	0	0	0
	合 計	0	32,000	33,332	16,666	0	0	81,998
残 余 金		0	1,351	0	0	0	0	1,351

※残余金については、市に返還済です。

(単位：円)

令和6年度4月から1月までの交付額は表1のとおりです。

・みどり21 91万6666円
・市民ネット 16万6666円
・至誠の絆 16万6666円
・会派に所属しない議員(2人) 各8万3333円

令和6年度2月・3月分の交付額は表2のとおりです。

・市民ネット 3万3332円
・菊川ゆめ未来 3万3332円
・会派に所属しない議員(1人) 1万6666円

なお、会派みどり21、奥野寿夫議員、石井祐太議員からの申請はありませんでした。



議会活動レポート

議会改革度調査2024

早稲田大学デモクラシー創造研究所が発表した「地域経営のための議会改革度調査2024」で、菊川市議会は全国総合99位（前年度63位）、静岡県内6位（前年度1位）との評価を受けました。

地域経営のための

議会改革度調査とは

早稲田大学デモクラシー創造研究所が、全国の地方議会に対し前年の議会活動等を調査、数値化、ランク付けして公表しています。今回は1544議会が回答し、回答率は86・4%でした。

調査のリニューアル

昨年度まで議会改革度調査を実施していた「早稲田大学マニフェスト研究所」と、「早稲田大学公共政策研究所」の2つの研究所を引き継ぎ、令和7年4月1日に「早稲田大学デモクラシー創造研究所」が設置されました。

2010年度に開始した『議会改革度調査』は15年目を迎えました。地方自治体を取り巻く環境は大きく変化し、一層、地域課題解決や未来創造の具体的な成果や変化が求められるようになりました。そのため、タイトルに『地域経営のための』が加わり、問いの設計も改められました。

【調査の観点】

1. 政策力の強化
新しい技術も活用しながら、政策形成・政策提言を行う
 2. 主権者の参画
住民の意見を政策に反映させる仕組みの構築と実践
 3. 議会機能の強化
二元代表制の一翼を担う機関として、事務局を含めた議会全体の機能の強化
- ICT化の推進も継続しつつ、社会の変化に対応し、より良い議会となるよう取り組んでまいります。

議会豆知識

「自主財源」と「依存財源」

◆自主財源とは

地方公共団体が自分たちで自主的に集められる財源のことをいいます。代表的なものは市税で、その他に分担金及び負担金、使用料及び手数料、寄附金、繰越金等があります。

◆依存財源とは

国や県の決定や割り当てに基づく財源のことをいいます。国庫支出金や県支出金のほか、地方譲与税、利子割交付金等の各種交付金、また、地方債（市債）もこれに該当します。

◆自主財源と財政健全化

歳入全体に占める自主財源の割合が高い方が、自由度が高く、自主性と安定性を確保する上で望ましいとされています。菊川市は、令和5年度決算の歳入のうち自主財源が98億815万

円で45・1%でした。

地方公共団体の財政は、単純に自主財源比率だけで判断されるものではありません。財政の健全性は「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」に基づく5つの指標を使ってチェックされます。詳細は令和6年12月号の広報菊川で特集されています。



広報菊川12月号はこちらから



「広報菊川」で検索

議会活動レポート

議会ふれあいミーティング

「語ら座あ」



「見える議会・開かれた議会」をめざして、本年度も議会報告会を開催し、令和6年度の議会活動について報告を行いました。

6月10日から、市内11地区の各地区センターで開催し、最後に全体会を7月5日の土曜日に「フラザきくる」で行いました。

各会場とも、多くの市民の皆さまにお越しいただき、誠にありがとうございました。

《報告内容》

- ・市議会の仕事・概要等
 - ・令和6年度総務建設委員会活動
 - 「防災・減災について」
 - ・令和6年度教育福祉委員会活動
 - 「コミュニティ・スクール、小中一貫教育について」
 - 「電子図書館システムについての勉強会」
 - ・予算審査
 - ・事務事業評価
 - ・意見交換
- 「わがまち菊川の魅力は？」

現地での説明と同じ内容のYouTube動画はこちらから



「令和7年度菊川市議会報告会」で検索

意見交換の中で寄せられたご意見やご提案は、集計・分析を行い、市議会のホームページなどで公表するとともに、今後の議会活動に活かしてまいります。

みんなの声

傍聴者より

初めて議会の傍聴をさせていただきました。市職員の皆さん、議員の皆さん、菊川市の各施策について真剣に取り組んでおられる様子が見られ、菊川市民として安心いたしました。今後も機会があれば議会傍聴をさせていただき市政について見分を広めたいと思います。

傍聴者より

今日の質疑、附託、採決はあっさりとした内容に感じられました。本会議を迎える前に、委員会での話し合いなどが十分に行われているものとお察ししますが、傍聴している自分にはその内容が諳り知ることができず、「なぜ賛成なのか」をもっと知りたいと思いました。

《皆さまの声をお聴かせください》

「議会のひろば」を読んだ感想やご意見をお寄せください。

もれなく菊川市議会特製

“きくのんクリアファイル”をプレゼント!!

- メール gikai@city.kikugawa.shizuoka.jp
- FAX (0537) 35-2116
- 郵送先 〒439-8650 静岡県菊川市堀之内61番地

※議会への要望や意見なども受け付けています。
※クリアファイルの郵送のため、住所と連絡先も記載ください。



メール送信はこちらのQRコードを読み取ると便利です。



きかせてパパママの声

Vol.38

菊川市に住むお父さん
お母さんに聞きました。

私達は常葉菊川高校で我が家の3人の子供を含め、幼児から大人まで空手の指導をさせていただいています。空手道をとおり、基礎体力を養い、あいさつや礼儀などを学び、愛される子、応援される子を育てたいと思っています。競争で成長したり、自分の気持ち・考えを大切に、みんなの中の自分も学べる場である事を意識して子供達と成長し、楽しんでいきたいです。

塚本 祐基さん・真由佳さん

9月定例会の予定 (各日とも午前9時～)

8月	
28日(木)	議案の提案説明
29日(金)	議案の提案説明(前日の続き)
9月	
4日(木)	一般質問
5日(金)	
8日(月)	質疑・討論・採決・委員会付託
26日(金)	委員長報告・質疑・討論・採決
29日(月)	予備日

※予定が変更になる場合がありますので、事前に議会事務局(35-0941)へご確認ください。

あなたもできるこんなこと!



傍聴

本会議・委員会などを傍聴できます。開催日に議会事務局へお越しください。



陳情・請願

特定のことについて、議会などに実情を訴え、適切な措置を要請できます。



市民説明会

委員会審査案件の審査経緯、結果などについて、説明会の開催を要求できます。

編集後記

今回の特集では、松下産婦人科医院の助産師の皆さんにご登場いただきました。人口減少が進む中での医療、とりわけ新たな命を迎える産科医療の現場で、助産師の皆さんの貴重なお話を伺うことができました。取材を担当した議員もこの産婦人科で生まれ、自らの出産でもお世話になっていることから、まさに当事者としての視点でインタビューに臨むことができました。菊川市の未来を担う新生児を迎える現場で、助産師の皆さんが注ぐ温かな愛情に触れ、大変感銘を受けました。

(編集委員長 渡辺 修)

次回の議会のひろばは
11月発行予定です。
(年4回発行)
お楽しみに!



表紙の写真

菊川市の風景を紹介していきます。

菊川市観光協会主催
第9回 菊川市
みどころフォトコンテスト
(2022年) 作品
いいね! っていう賞
@kikugawa_chanさんの
作品

撮影地: 菊川市上倉沢



【無料】地域住民と自治体をつなぐアプリ「マチイロ」
菊川市議会だより「議会のひろば」も登録しています!



ダウンロードはこちら

マチイロ

